

## タイムアウト回数の変更について

### ■ 通知内容

#### タイムアウトの回数の変更

- ・前後半それぞれ 2 回ずつの取得を認める。
- ・但し、試合時間が伸びることを防ぐため、1 回のタイムアウトは 45 秒間とする。
- ・2019 年 4 月 1 日から実施とする。

### ■ 導入の背景

これまで、プレーヤーの自主性を重んじる目的で、1 試合におけるタイムアウトの回数を前半 1 回、後半 1 回としてきました。しかし、プレーヤーにきめ細かく指導する機会の確保も必要であるとの考え方から、各クォーターに 1 回ずつの前後半各 2 回ずつタイムアウトが取得できるように変更いたしました。

今回の変更に伴い、試合の長時間化につながらないよう、1 回のタイムアウトは 45 秒間に短縮することとしました。

### ■ 実施時期と変更内容について

#### (1) 実施時期

- ・タイムアウト回数の変更は、2019 年度より、すべての大会で適用する。

#### (2) タイムアウトに関するミニバスケットボール競技規則の新旧対照表

旧) ミニバスケットボール競技規則	新) ミニバスケットボール競技規則
<p>第 24 条 タイム・アウト</p> <p>1 チームは各ハーフに 1 回ずつ 1 分間のタイム・アウトをとることができる。延長を行う場合には、各延長時限に両チームに 1 回ずつのタイム・アウトが認められる。</p> <p>(以下略)</p>	<p>第 24 条 タイムアウト</p> <p>1 チームは<u>各クォーターに 1 回ずつ</u> <b>45 秒間</b>のタイムアウトをとることができる。延長を行う場合には、各延長時限に両チームに 1 回ずつのタイムアウトが認められる。</p> <p>(以下略)</p>
<p>第 11 条 タイム・アウトの終了</p> <p>タイム・アウトが宣せられてから 50 秒が経過したとき、タイマーは、合図器具を鳴らして審判に知らせる。</p> <p>タイマーの合図があったとき、審判は笛を鳴らし、両チームのプレーヤーにコートにもどるようにうながす。</p> <p>両チームのプレーヤーは、この合図があるまではチーム・ベンチ付近にいなければならない。タイム・アウトが宣せられてから 60 秒が経過したとき、タイマーはふたたび合図器具を鳴らして審判に知らせる。審判は、タイマーの 2 回目の合図があるまではゲームを再開してはならない。</p>	<p>第 11 条 タイムアウトの終了</p> <p>タイムアウトが宣せられてから <b>35 秒</b>が経過したとき、タイマーは、合図器具を鳴らして審判に知らせる。</p> <p>タイマーの合図があったとき、審判は笛を鳴らし、両チームのプレーヤーにコートにもどるようにうながす。</p> <p>両チームのプレーヤーは、この合図があるまでは<u>チームベンチエリア付近</u>にいなければならない。タイムアウトが宣せられてから <b>45 秒</b>が経過したとき、タイマーはふたたび合図器具を鳴らして審判に知らせる。審判は、タイマーの 2 回目の合図があるまではゲームを再開してはならない。</p>

**(3) 補足**

- ① ミニバスケットボールのスコアシートの「タイムアウト」欄は、次の通り表記いたします。なお、第 2 延長以降は、欄の右側に記入欄を付加して記入をしてください。

**【スコアシートの表記方法】****▼現行スコアシートの表記**

タイム・アウト				
前	後	延	延	延

**▼新スコアシートの表記**

タイムアウト				
1	2	3	4	延

**▼タイムアウト欄を付加した場合**

タイムアウト					
1	2	3	4	延	延

※ 現行スコアシートは、二重線等で訂正して利用していただいて結構です。

以上